

“日本一高地”の花火大会！氷点下の花火大会が心の距離を近づける

第一回「富士山花火」開催

広大な遊園地でディスタンス確保、ドライブイン花火など
withコロナ時代の新しい花火の楽しみ方

日時：2021年12月18日(土) 会場：裾野市内「遊園地ぐりんぱ」

富士山花火実行委員会は、2021年12月18日(土)、「富士山花火2021」を開催いたします。

本花火大会の舞台は、世界遺産であり、日本最大の文化資源である「富士山」です。観覧エリアは静岡県裾野市、富士山南麓二合目にある「遊園地ぐりんぱ」です。富士山の麓から観覧できる本花火大会は、“日本で最も高い場所で開催される花火大会”となります。

花火の製作は、静岡県が誇る国内屈指の花火企業イケブンが担います。内閣総理大臣賞受賞歴もあるイケブンの花火と富士山の、かつてない規模の共演が叶います。日本の自然と伝統文化が織りなすダイナミックな絶景が期待されます。また、花火打上げ場所と観覧エリアが近いことに加え、地形を活かし、席によっては目線よりも低い位置からの打ち上げになるため、花火が開き星が形を描く時の高さが通常の花火大会よりも大変低く感じられ、他に類を見ない大迫力の花火大会となります。

本大会は広大な敷地内にソーシャルディスタンスを十分に確保した限定約4,500席で開催いたします。観覧エリアが遊園地であることを生かした鑑賞チケットや、自家用車から花火を観覧できるドライブイン花火のチケットなど、人との接触を最小限に抑えたプランを用意しました。安心して花火をお楽しみいただける、withコロナ時代の新しい形の花火大会です。

夏のイメージが強い花火ですが、冷たく澄んだ空に打ち上がる冬花火はより一層美しく見えます。クリスマスを目前としたこの時期、澄み切った空と富士山の雪化粧に映える花火でぜひ心の距離を近づけてください。

※本イベントの一部は文化庁「ウィズコロナに対応した文化資源の高付加価値化促進事業」採択事業です。



▲キービジュアル



▲イケブンの花火

日本のシンボルとも言える富士山と、日本が誇る伝統文化の花火。コロナ禍において観光事業が危機を迎える中で、未来に継承すべき2つの重要な文化資源の魅力を発信していきたいと考え、「富士山花火」の開催を決定しました。

また長引くコロナ禍により、昨年、今年と各地の花火大会が中止や延期になる中、多くの花火師が窮地に立たされています。このままの状況が続けば花火師の流出や花火企業の廃業から、日本の花火業界そのものの衰退につながるという危機感を持っています。今回の花火大会は、そんな花火師たちを支持し応援することで、日本の伝統である花火文化を未来に繋いでいくことも目的にしています。加えて、夏のイメージが強い花火大会を12月の富士山という寒い時期に開催することで、一年を通しあらゆるロケーションでの花火の楽しみ方を提案します。新時代の花火大会、季節に縛られない花火大会の象徴として、花火業界をさらに盛り上げていきたいと考えています。

本花火大会は、富士山を囲む各市町村と連携し、毎年リレー形式での開催を目指します。初年度である2021年は、静岡県裾野市での開催が決定。富士山×花火を象徴する大会として、来年度以降は富士山を囲む山梨・静岡の各市町村を巡ります。

withコロナ時代の新しい花火大会

「富士山花火」では、広大なエリアに対して席数を4,500席に限定して十分なソーシャルディスタンスを確保するほか、人との接触を最小限にし安心して花火を鑑賞できる、withコロナ時代の新しい花火の楽しみ方を提供いたします。

■ドライブイン花火が楽しめるプラン

自家用車に乗ったままチェックインし、プライベート空間を保ったまま車中で花火鑑賞できるプランです。終了後は車に乗ったままチェックアウトして帰路に着くことができます。

小さなお子様、ご高齢者、会場と家の往復や会場内の移動が困難なお体の不自由な方にも、思い思いのスタイルでゆったりと、本格的な花火をご観覧いただけます。

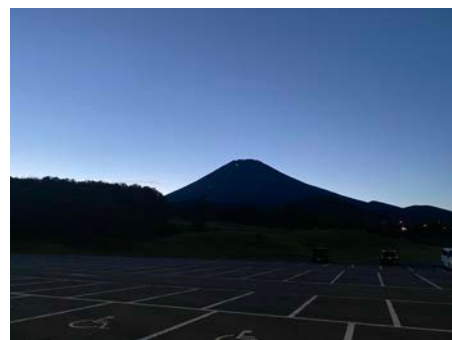
■遊園地の敷地内から花火を楽しめるプラン

厳格に人数制限が行われている遊園地内で、ソーシャルディスタンスを十分に保つことが可能なシートを配布いたしますので、自由に好きな場所でシートを広げて花火を鑑賞していただけます。花火の迫力が間近で楽しめるエキサイティングエリアではリクライニングチェアや椅子の指定席をご用意しています。



▲遊園地ぐりんぱ全景

- 名称： **富士山花火2021**
※本イベントの一部は文化庁「ウイズコロナに対応した文化資源の高付加価値化促進事業」採択事業です。
- 開催日時： 2021年12月18日(土) ※荒天の場合中止
 - ・ 開場：遊園地エリア13:30 ドライブインエリア13:30 (予定)
 - ・ 開演：16:30 (予定) 終演18:00 (予定)
- 開催場所： 裾野市内「遊園地ぐりんぱ」(富士山二合目に位置)
〒410-1231 静岡県裾野市須山字藤原2427
<http://www.grinpa.com>
- 公式HP：<https://fujisanhanabi.com/>
- 公式SNS：
 - Twitter <https://twitter.com/fujisanhanabi>
 - Instagram <https://www.instagram.com/fujisanhanabi/>
 - Facebook <https://www.facebook.com/fujisanhanabi>
- 打ち上げ数： 約5,000発 最大10号玉
- 観覧席： 約4,500席／全席有料
 - 花火鑑賞シート席
 - ドライブイン花火(車中から鑑賞)などを予定。
- チケット情報： アソビュー!、富士急トラベル、イープラス、ローチケ等で販売。
詳細は後日発表します。
- 主催： 富士山花火実行委員会(株式会社イケブン、株式会社フロンティアインターナショナル、一般社団法人伝統文化継承推進協会、演出：David J. Production Co., Ltd.)
- 後援： 裾野市
- 協賛： アソビュー株式会社 <https://www.asoview.co.jp/>
- 協力： 富士急行株式会社、富士急トラベル株式会社、株式会社ピカ、住友理工株式会社 富士裾野製作所、裾野市観光協会



■花火大会がこの1年ほとんど実施できなくなってしまったことについて

この1年半新型コロナウイルスの影響で様々な業種、業界が壊滅的なダメージを受け、手の打ちようがない状況が続いていました。花火業界も例外ではなく、打上現場数もコロナ禍前と比べ10分の1にまで縮小しました。花火大会は通常、開催の1年前～半年前に準備を開始するところが多く、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されるたびに開催予定だった花火大会が数日前に急遽中止/延期に追い込まれた大会も多く、大会主催者や花火屋もやり場のない悔しさを抱えたままこの1年半過ごしていました。

また、業界的にも休業や従業員の大量解雇、廃業する業者も出てきている状況です。準備していた花火も火薬庫で在庫として残っており、新しい花火を作る事も出来なくなり、花火技術や文化継承の観点からも危機的状況と言えます。

しかし今回のコロナ禍で、業界全体がこのままではいけないと様々な試みにチャレンジし、新しい花火大会の形を模索する1年半でもあったのではないかと思います。

■今回満を辞して富士山で花火大会を新しく設立したことへの意気込み

今回の富士山花火は、新しい花火大会を立ち上げるだけではなく、コロナ禍で安全に花火大会を運営するための実証実験、マニュアル作成の意味合いも込められています。

コロナ禍真っ只中での準備を進めていくにあたって、様々なハードルがある中、行政、民間が協力して私有地で開催される数少ない花火大会でもあります。

これらの試みはwithコロナ時代に向けた新しい試みで、これらのノウハウが花火業界は元より様々な業界で共有されることで、これからの花火大会の新しい形として浸透していけばと思います。

また、富士山の麓で花火が打ち上がるため、富士山と花火の共演も魅力です。富士山の壮大さや迫力に負けない花火を打ち上げたいと思います。

■冬花火の見どころについて

花火は夏というイメージが強いですが、冬の澄んだ空気の方が花火の放つ光は綺麗に見えます。（湿度も低く煙の滞留が無い）

また、夜は星空が綺麗に見え、それを背景に花火が開くことで、夏とは違った雰囲気の花火大会になると思います。

夕焼けの富士山がまだ見える時間帯からオープニング花火を打ち上げ始めるので、晴れていれば富士山+花火の撮影が出来、だんだんと暗くなっていくにつれてくっきりと見えてくる星との共演が叶います。お客様の「せっかく富士山に来たから富士山と花火を同時に写真に収めたい」という思いに応えるべく、通常なら真っ暗になってからスタートする花火大会を、夕焼けが残る時間帯から始めることにしました。

株式会社イケブン

～製造から演出まで花火の全てをプロデュース。静岡が誇る花火の総合商社～

全国から選ばれた28業者のみが参加できる、全国花火競技大会「大曲の花火」の第89回大会で最高栄誉の「内閣総理大臣賞」を受賞。これは静岡県の煙火業者でも初めての快挙となった。

また、同年(2016年)長崎県ハウステンボスにて開催された「第8回世界花火師競技大会」においても優勝。初出場ながらも世界一に輝く。その他数々の花火大会において最優秀賞を獲得している。

花火×音楽をシンクロさせる「デジタルスターマイン」を20年前から導入。最先端の花火シミュレーションソフトを使い、打ち上げシーンのシミュレーションを事前に行うことで、より満足できる演出を再現させている。

難易度の高い「時間差花火」の演出で高い評価を得ている。

2018年にお台場海浜公園にて開催した、世界最高峰の花火師たちが集結する“東京花火大祭～EDOMODE～”にも参加し好評を博した。



■ イケブン会社概要

会社名：	株式会社 イケブン
創業：	1904年（明治37年）2月15日
資本金：	1800万円
従業員数：	連結80名
代表取締役：	小向 昌弘
事業概要：	煙火・火工品の製造販売 花火大会の企画・制作・運営 各種イベントの企画・制作・運営 雑貨・小売販売
本社所在地：	静岡県藤枝市寺島46
三島支店：	静岡県三島市青木210-1